

# 弘前・ヒロロで修了イベント

## 「健康道場」に手応え

### 企業ブース展開 浜内さん(料理家)講座も



減塩の大切さなど食について学んだ浜内さんの講座



ライオン歯ブラシを釣るゲームなど企業によるさまざまなブースが人気を集めた

健康づくりイベントのプログラム開発につなげよう」と実施してきた「D・I・中路の健康道場 8週チャレンジャー」の修了イベントが9日、弘前市のヒロロで行われた。健康道場はアクセスの良いヒロロを会場に、運動不足になりがちな冬期間にウォーキングスタンプラリーを実施し、参加者の健康力向上と街のにぎわい創出を目指した初の取り組み。修了イベントでは、料理研究家の浜内千波さんの講座や、冷えの謎を解く企業ブースなどを展開し、約300人の参加者が健康意識を高めた。運営側は今後も健康意識向上に向けたさまざまな企画を提案していく方針だ。(成田真由美)

健康道場は弘前大学COI企画企業のベネッセコーポレーションとウエバランス、ヒロロが連携して初めて企画。ウォーキングスタンプラリーは、昨年11月23日から8週にわたって行われ、参加者は館内コースを巡り健康増進に努めた。9日は、8週にわたるウォーキングスタンプラリーを閉幕した22人を表彰。同時に幅広い人たちに健康づくり

について働き掛けよう」と市やヒロロ、弘大、各企業の担当者や食生活改善推進員ら約50人が参加しさまざまな企画を展開。

血圧や体組成などを測定するコーナーが設置されたほか、弘前大学の中路重之特任教授の健康講座が開かれた。また、浜内さんが減塩の大切さをクイズを交えながら紹介した。

本県の食生活の現状や減塩の大切さをクイズを交えながら紹介した。

減塩の大切さなど食について学んだ浜内さんの講座

また、浜内さんが減塩の大切さをクイズを交えながら紹介した。

会場には花王、ライオン、ハウス、クラシエ、カゴメなどさまざまな企業ブースが並び、子どもたちが歯ブラシ釣りゲームで楽しんだり、友人同士で血圧の測定体験をして

冷え 予防を学んだりして、楽しく健康づくりの意識を高めた。各企業の商品を詰めた福袋も人気を集めた。

弘前市の手塚幸さん(23)は8週にわたるスタンプラリーに挑戦しており、「雪道は危ないが、商業施設は危険なく歩くことができて参加しやすかった。きょうのようなイベントも楽しい」と満足げに語った。

企画側は、来場者に参加理由や健康意識に関するアンケートを実施しており、今後集計して成果や課題を検証する方針だ。

企画したベネッセコーポレーション事業戦略本部事業戦略部の吉田寛美子プロデューサーは「健康づくりへの動機づけとプログラムをどう結び付けるか、一人一人が、自分ごとができるかというところが肝。大人向けのプログラムであっても楽しさや喜びをどう組み込んでいくのかということが必要だと分かった」とし、今後の展開として「(弘大COI開として)Iの企画企業の知恵をベネッセがかみ砕いて提供できる教材開発に加え、フラットフォームのような役割ができたらと考えている」と述べた。

弘大COI拠点長の中路特任教授は「冬のイベントが少ない中で、楽しめるイベントとして企業ブースや土産、健康測定などさまざまな企画し、人々を集めることにつながった」とし、今後の展開として「(弘大COI開として)Iの企画企業の知恵をベネッセがかみ砕いて提供できる教材開発に加え、フラットフォームのような役割ができたらと考えている」と述べた。

だったが、手応えはあった」とし、「今後は健康に興味のない人をどう引き付けるかが課題。定期的にイベント化できるよう工夫を凝らしたい」と述べた。